

ご使用前に必ずお読みください。 ガススプリング取扱説明書

1.取扱説明書保管について 取扱説明書は、いつでもご使用いただけますよう大切に保管下さい。

2.記号表示について 表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

- ⚠ 警告** ●製品に潜在する危険を回避しなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性がある状況になる場合の警告に使う語。
- ⚠ 注意** ●操作手順、保全作業手順等に厳密に従わない不適切な行為が、軽い怪我もしくは物的障害がありうる場合の警告に使う語。

⚠ 警告

■ ガススプリングの適合性の決定は、装置の設計者または仕様を決定する人が判断してください。

- ガススプリングは、使用される条件が多様なため、その装置への適合性の決定は、装置の設計者または仕様を決定する人が必要に応じて、性能検証及びライフテストを行ってから決定してください。

■ ガススプリングを仕様範囲外で使用しないでください。

- 仕様範囲外で使用されますと、製品の故障、破損の原因となります。

■ 次で使用する場合での安全対策の実施

- 次に示す条件や環境で使用する場合の安全対策の実施、並びにあらかじめ当社へ相談を行い使用可否の判断を受けてください。

- 1) カタログや取扱説明書に明記されている標準仕様以外の環境、屋外、直射日光が当たる場所での使用。
- 2) 原子力に関わる機器、鉄道や船舶の運行および車両の走行に直接または間接的に関わる機器、航空や宇宙に関わる機器、軍用に関わる機器、医療に関わる機器、飲料や食料に触れる機器、燃焼装置、娯楽機器で人や財産に影響の関わる機器、緊急遮断回路、プレス機器、その他、人や財産に大きな影響をおよぼすことが予想され、特に安全が要求される機器や用途への使用。

■ ガススプリングは絶対に分解しないでください。

- 圧縮された窒素ガスが封入されているのでそのまま分解することは非常に危険です。
- 廃棄時は「廃棄上の注意」の欄をお読みください。

■ ガススプリングは火中に投じしないでください。

- 内部に封入された窒素ガスは可燃性ではありませんが、加熱による膨張のため本体が破裂したり内部のオイルが噴出する可能性があります。危険です。

■ ガス漏れが発生した状態のまま使用しないでください。

- ガス反力の低下により、カバーや蓋が落下し危険です。

■ ガススプリングを扉や蓋の保持用として使用しないでください。

- 窓などで使用の際に、突風等の影響で過大な外力が加わると、窓などが動いてしまう可能性があります。危険です。ストッパーを別に設けてください。

■ ガススプリングに最大長以上に伸びるような力はかけないでください。

- ガススプリングは伸び方向への過大な力に耐えるだけの強度を有していません。

⚠ 注意

■ 選定

- ガススプリングは、内部に少量のオイルを使用しておりシール等で外部への漏れを防止しておりますが、完全シールを期待する物ではありません。よって、オイルを嫌う環境での使用はできません。
- ガススプリングは、内部に窒素ガスが封入されておりシール等で外部への漏れを防止しておりますが、完全シールを期待する物ではありません。時間と共に、徐々にガスが漏れる性質がありますので、そのことを考慮し反力設定を行って下さい。ガス反力が低下した場合は交換が出来る様に、作業スペースの確保をお願いします。
- ガススプリング1本で重量物を支える場合、ロッドに曲げ荷重が掛からないようにしてください。
- ガススプリングはリジットでの取付は行わないで下さい。ガス漏れの原因になります。
- ガススプリングは振動等の多い環境下では、早期にガスが漏れる可能性があります。

■ ガススプリングの取り付け・選定などは使用環境・使用方法を十分に考慮の上、決定してください。

- 仕様、用途その他不明な点はお問い合わせください。

■ ガススプリングのピストンロッドには傷を付けないでください。

- ロッドに傷がつくとシールを損傷し、ガス漏れあるいはオイル漏れによるガス反力の低下の原因になります。

■ ガススプリングは錆が発生するような環境では使用しないでください。

- 取り付け金具等は亜鉛メッキが施されていますが万全ではありません。

■ ガススプリングの使用温度範囲（-20℃～80℃）外では使用しないでください。

- ガススプリングは温度の影響を受けてガス反力も低下します。

■ ガススプリングをオゾン環境下では使用しないでください。

- 海浜の直射日光下や水銀灯付近やオゾンの発生する装置近くで使用しないでください。オゾンによるゴム部品の劣化により、性能・機能の低下や機能停止の原因になります。

■ ガススプリングのピストンロッド部には、油や揮発性溶剤を付着させないでください。

- ピストンロッド部に付着するとシールを傷める等の可能性があり、ガス反力の低下につながります。

■ ガススプリングに過大な外力を作用させないでください。

- ピストンロッドに曲げ荷重、ねじれ、こじれ等の過大な外力を作用させると、ガス抜けの原因となります。

■ ガススプリングを急速なスピード（目安として1 m/sec以上）や微振動でストロークさせないでください。

- 急速なストローク運動や微振動での使用は、シールを傷めガス抜け、オイル漏れの原因となります。

■ 腐食性のある雰囲気での使用はしないでください。

- シール部の劣化や本体の腐食による劣化がガス抜けの原因となります。

■ ガススプリングの取付金具は当社カタログ品を使用してください。

- 当社カタログ品以外の取付金具を使用した場合、曲げ荷重、ねじれ、こじれ等により、ガス抜け、破損の原因となります。

⚠ 廃棄上の注意

■ 廃却の際は、絶対に火中に投げないでください。

■ 廃却においては、下記の要領でガス抜きを完全に行ってください。

- ガススプリングをボール盤に水平に固定し、ガス充填バルブ端面から30～40mmの位置に2～3mmのドリルで穴をあけ、確実にガス抜きを行ってください。作業時には、封入オイルや切粉、ガスの飛散に備えて必ず保護眼鏡をかけて作業を行ってください。

ガススプリングが原因で発生した二次災害については、不二ラテックス(株)は責任を負いかねます。二次災害の起こらない様対策を行ってください。



不二ラテックス株式会社
精密機器本部
URL <http://www.fujilatex.co.jp>

営業部 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
TEL 03(3259)2524 FAX 03(5282)7520
TEL 03(3259)2545